

【実施計画案】



平成27年8月19日
神居中学校生徒指導部

「ポイ捨てなくそうクリーン作戦」実施計画案

1 目的

- ・「神居地区青少年を守る会」の活動「心の絆を深めるネットワーク作戦」のひとつとして、神居地区の児童・生徒・P T A・地域の方々が一体となって地域のゴミ拾いを実施し、自分たちの手で神居の街をきれいにする。
- ・活動を通して、地域の美化に目を向けさせるとともに、地域の一員であること、地域の人々と協力して働くことの大切さやボランティアの意識を高める。

2 日 時

平成27年8月28日（金）14:10～

※雨天順延 9月3日(木)

※本年度も神居小と合同で開催します。
(詳細は別紙)

3 活動計画

- ①広報活動を通して、P T Aや地域の方に参加を呼びかける。(各校で)
- ②活動内容は、道路沿いのゴミ拾いを行う。
- ③ゴミは、「可燃」「不燃」「ペットボトル・カン」の3つに分別し、小学校に持ち帰って処理する。

4 準備するもの

●軍手 ●地域の人への感謝の心

5 その他

- ◎交通事故には十分注意する。
- ◎地域の方は開会式には集合せず、14:30ごろ自宅付近外に出ているとき、子どもたちへの声かけや活動に協力していただきます。

13:05	給食終了
13:10～13:40	帰りの会・簡単清掃
13:40～13:50	事前学級指導
13:50～14:05	グラウンドへ移動・整列 ★荷物は教室に置いておく
14:10～	開会式（14:05集合）
	①当番学校長あいさつ（小学校校長）
	②児童会長あいさつ
	③中学生リーダーの紹介（小学校阿部先生より）
	④諸連絡（小学校阿部先生）
14:25～	エリアごとに出発
～15:00	終了のめど (エリアごとに小学校に戻り、ゴミの処理をして解散)



ポイ捨てなくそうクリーン作戦にむけて

①8/25 (火) までに各クラス、ブロックの数だけ班を作ってください

※「班長」と3種類（燃やせる、燃やせない、プラ・カン）の「ゴミ袋担当者」を決めてください

※データに氏名を入力してください。

②8/27 (木) 帰りの学活で連絡をお願いします

明日の準備：「軍手」、「ジャージ登校」、「地域への感謝の心」、「雨天時の授業」

28日 (金) 午後の日程

13:05 給食終了

13:10～13:40 帰りの会・清掃

13:40～13:50 事前学級指導

13:50～14:05 グラウンドへ移動・整列

★荷物は教室に置いておく

14:10～ 開会式

①当番学校長あいさつ（小学校校長）

②児童会長あいさつ

③中学生リーダーの紹介（小学校阿部先生）

④諸連絡（小学校阿部先生）

※開会式後、A～I班（各7～8名）毎に自己紹介をする。

14:25～ 自己紹介後、エリアごとに出発

～15:00 終了のめど

（中学生は小学校に戻り、ゴミの処理をして解散）

③当日の事前学級指導の時間に…

【注意事項】

- グループの班長、3種類のゴミ袋担当3人を決めてしっかり活動する。
 - ・拾ったゴミは中学生が小学校へ持ち帰る
- 中学生が小学生のお世話をしっかりする。
 - ・危険のないように連れて歩く
 - ・中学生のほうから話しかけ、スムーズに活動できるように努める
 - ・勝手な行動のないようにリードする
- 人家の敷地には侵入しない。
- 危険と思われるものについては回収しない。
- 処理に困るようなものについては担当の先生の指示を仰ぐ。
- ケガをするようなことはしない。
- 交通事故に遭わないように十分気をつける。
- 一緒に活動する小学生、地域の方々に元気なあいさつをして気持ちよく活動する。
- 作業が終了したら、小学生にねぎらいの言葉をかける。

<中学校側 確認事項>

1. 担当エリア内で「A～I」の班を作る。班長1名とゴミ袋担当者3名を決めておく。
2. 開会式は小学校グラウンドで行う。小中ともエリア毎にA～Iの班順に並んで整列する。
3. 開会式で司会者より中学校のリーダーが紹介される。その際、学級委員長（先頭）はその場に起立する（だけ）。（小学生から「よろしくお願いします」と拍手が送られる）
4. 開会式後、エリア毎の「A～I同士」で集まり、自己紹介をする。その際、中学生の班長から自己紹介を始める。同時にゴミ袋担当者も伝える。
5. 各グループ「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「ペットボトル・カン」の3つに分別する。
6. 自己紹介が終わったら移動し、ゴミ拾いを開始する。ゴミ拾い終了時、クラス毎に集まる場所を小学校の先生に確認しておく。
7. ゴミ拾いが終わって集まったら、小学生（児童または教師）中心に終了を取り仕切ってもらいます。中学生感想1名は、委員長が行ってください。
8. 拾ったゴミは、中学生が小学校に持って帰り、学校で処理をする。（小学生は現地解散が基本。小学生の下校は小学校の先生の指示にまかせる）
9. 地域の方は開会式に集合せず、時間になったら自宅付近外に出てください、子どもたちへの声かけやゴミ拾い活動に参加します。

ポイ捨てなくそうクリーン作戦

平成27年8月28日(金)

開会式 14時10分
集合場所 神居小学校
グラウンド(雨天順延9/3木)
持ち物 **軍手等**



神居小中の校区を8つのブロックに分けて、小中学校合同で行います。
地域の方、保護者の皆様のご参加をお待ちしています！

※各エリアでのゴミ拾いは14時30分頃となりますので、地域の方は
自宅付近のエリアで、子どもたちへの声かけや活動への御協力をお願いします。

※雨天**順延**の場合、中止の場合の連絡はできませんので、各ご家庭で判断を
お願いします。

※ゴミは可燃、不可燃、**ペットボトル・カン**の3つに分別をして、中学生が集めて処分
をします。

主催 神居地区青少年を守る会

<活動後の感想>

○神居小学校児童

- ・短い時間だったけど、中学生と交流できて良い時間となりました。ゴミ拾いを通して、この神居地区の環境に役立てたと思います。
- ・中学生は見習うことが多かったです。来年僕が中学生になったら、小学生にしっかりした態度で接したいと思いました。
- ・クリーン作戦を終えて、中学生との交流ができて良かったです。中学生が積極的に行動していて、私もそんな中学生になりたいと思いました。来年のクリーン作戦では、積極的に行動したいと思います。
- ・中学生が自己紹介を進めたり、ゴミ拾いを積極的にやってくれたりしました。地域の方も手伝ってくれたおかげで、きれいになってよかったです。
- ・道にたくさんゴミが落ちているのでは?と思いました。さほどゴミはなくきれいでした。中学生ともう少しコミュニケーションをとりたかったけど、話しかけることができないまま終わってしまいました。私が中学生になったら、私から小学生に話しかけられるようにしたいです。
- ・ポイ捨てなくそうクリーン作戦をして、神居がきれいになりました。落ちているゴミを見ると不愉快な気持ちになるので、「ポイ捨てはしないぞ。」と思いました。
- ・普段ゴミを拾うのは大変ですが、一人でもゴミを捨てる人が減るといいなと思いました。

○神居中学校生徒

- ・みんなとても積極的で、特に小学校のみんなはゴミ拾いに熱中するあまり、僕らよりずっと前に行ってゴミを探し、意欲的な姿勢に僕らも一層やる気がみなぎっていたので、そういう所を見習いたい。
- ・ちょっとでも神居の町がきれいになったと思うから、頑張ったかいがあったなと思いました。小学生も礼儀正しくて良い子だったから、もう一回したいなと思いました。
- ・小学生と協力してゴミ拾いをしていたら、窓から声をかけてくれた人がいました。「ありがとう」と言われて、地域の方との交流って大切だなと思いました。
- ・今まで何も気にしなかった道もよく見ると多くのゴミが捨ててあるということがわかりました。今日の体験を通して、小6の人と仲良くなれてよかったです。
- ・思ったより目立ったゴミが落ちていなかったの、いつも地域の人達がゴミを拾っていることにすごいと思った。自分も見つめ振りせず、気づいたらどんな小さなゴミでも拾ってみようと思った。
- ・基本的にはみんな仲が良さそうだった。ゴミを拾うのも熱心だったし、楽しくてはしゃいでいるようにも思えた。ゴミを拾うのは楽しくない。でも、きれいになった道を見るとうれしくは思えた。
- ・このような活動を通してポイ捨てをする人が減ればいいと思うし、これをきっかけにボランティア活動に興味をもつ人が出るといいと思う。



○保護者・地域の方々

- ・あまりゴミはなかった。でも、地域にゴミがないのはいいことだと思った。
- ・中学生が小学生の面倒をみているのがほほえましかった。
- ・子どもと一緒に活動でき、楽しかった。どの子も熱心にゴミを拾おうとしていた。
- ・中学生が小学生をリードしてくれるので、安心して取り組めてよいと思う。
- ・小・中学生が仲良くなれて良いと思う。昔は、中学生がこわくて小学生は近寄れなかったけど…。
- ・思いやりの心を育てるという意味でも、すてきな取組だと思う。
- ・子どもたちにゴミを捨てないという感覚が身に付く良い取組だと思う。中学生の頑張りが良かった。

○神居小学校教職員

- ・中学生がリードしてくれたおかげで、4つのグループがそれぞれの持ち場でゴミ拾いをする事ができた。中学生は優しく教えてくれるいい人というイメージはすごく大事だと思う。
- ・中学生が小学生を優しくリードしていたので、親しみやすく頼もしい存在と感じられ、良い交流になったと思う。
- ・昨年よりも児童生徒の交流の場が増えてよかった。また、中学生が積極的に小学生に関わってくれてよかった。
- ・開会式のエリアリーダーのあいさつや、閉会式で児童のお礼の言葉など、互いに交流する場面が増えてよかったです。
- ・活動中、中学生がいろいろ話しかけてくれ、小学生もうれしそうにお話をしていました。
- ・中学生が小学生に指示しながら活動する姿が見られ、頼もしく感じた。反面、小学生(低学年)が中学生の指示を無視して勝手なことをする場面も見られ、厳しく注意した。中学生に甘えているようだったが、このような場でのけじめが大切だと思った。
- ・ちょっとした自己紹介があることによって、ゴミ拾い中も例年より小中学生で交流しようとする気持ちになったのではないかな。

○神居中学校教職員

- ・開会式後の自己紹介やエリアごとの閉会式など、児童生徒の交流が工夫されていてよかった。
- ・例年通りの取組に少し工夫が加えられていました。小学校の提案を中心にお互いに調整されていました。小学校の先生方も中学校の要望に柔軟に対応してくれたのだと思います。
- ・今年は小学校が当番校ということで、できる限り小学生が主導する形で計画されていました。児童会長あいさつや小学生が閉会式を仕切るなど、味のある活動を経験でき、中学生も新鮮で新たな気づきを得ることができていたと思います。毎年当番を交互に、できる範囲でそれぞれの特徴を生かした企画をしていくとよいと思いました。
- ・中学生が小学生に上手に声かけをしてゴミ拾い活動をしていました。中1もお兄さんお姉さんになれるんだなと感じました。
- ・楽しくできていました。ゴミ袋担当の生徒が「○○と呼んでね」と言うと、小学生もそれに応えるなど、上手にコミュニケーションが取れているグループもありました。
- ・小学生に声をかけながらやっていたが、初めての生徒(台場小の卒業生)もいるので、中1は小1以外の組み合わせの方がいいかもしれない。
- ・地域の方々との関係がよくわからず…。(何となくいてくださって…みたいな)できれば、グループの中に入る方の紹介もどこかであるといいかなと思いました。



神居中学校区の取組

ポイ捨てをなくそう

小中合同の異世代交流清掃活動



小学生、中学生がともに仲良く活動し、交流を深めた

神居地区青少年を守る会が青少年の健全育成と異世代交流のために進めている「心の絆を深めるネットワーク作戦」の一環として行われている地域の清掃活動。神居小と神居中も毎年ボランティアとして参加し

ており、「ポイ捨てなくそうクリーン作戦」として親しまれている。昨年も八月二十八日に実施し、中学生二〇三人、小学生三〇四人、地域住民、保護者、教員を二グループとして、計約八十グループが地域を巡回。異世代間で交流を深めながら、地域のごみを丁寧に拾い集めた。

参加した児童は、「中学生のみんなが優しくて尊敬した。偉いねと言われ、うれしかった」、一方、生徒は、「小さい子どもが好き

なので、また一緒に活動したい」と感想を話していた。保護者からは、「小・中学生が一緒に活動すること

に意義がある。活動を通して、思いやりの心が育てば、地域住民からは、「子どもとふれあう良い機会となった。これからも続けてほしい」などの声が寄せられた。

進学前に中学校体験

3小学校交流会や新入生説明会

昨年二月三日には、神居小を会場に、同校と台場小、富沢小の六年生を対象に、神居三校（中学校区内三小学校）学習交流会を開いた。元々は神居小と台場小の二校で行っていたが、今回から富沢小が加わり、この日は七十六人が参加。市のALTと神居中英語科教員のTTによる乗り入れ授業として、外国語活動



神居中で開かれた新入生説明会。児童は音楽の体験授業で中学校の雰囲気を感じた

その後、二月十七日には、神居中で新入生説明会を開いた。児童は中学一年生の数学や理科、英語の授業を参観。また、中学校担当者から学校説明を受けた。このほか、今回新たな試みとして音楽の体験授業で同校校歌を練習。中学校の雰囲気を感じた。

小中連携推進委員会は交流会について、「各小学校の児童が相互理解を深める良い機会となった。TTにおける教員の役割分担が課題として残った」と評価。説明会については、「中学校生活への期待感を高めることができたが、これからは内容の精選とともに、特別支援学級の授業に参加できるようにすることが必要」と話している。